

# 昨年度の取組み内容について

---

---

# 神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会の取組み

規約項目	実施内容	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
(1) 危機管理に係る事項	準備会・第1回幹事会	10/2(準備会) 2/12(幹事会)	7/3	5/24	5/18	5/30	5/27	6/23 (web会議)
	連絡協議会	12/11	10/5	6/6	6/15	6/19	6/19	7/27 (書面開催)
	第2回幹事会		10/5	9/29		2/19	2/18	2/15 (web会議)
	第3回幹事会		1/14	1/10				
(2) 防災業務計画や地域防災計画の共有				地域防災計画の記載内容の共有等				
(3) 防災訓練の実施	出水期前訓練				学習型方式 高山市(5/18)	学習型方式 飛騨市(5/30)	学習型方式 高山市(5/27)	資料配付回答方式 (6/29資料送付)
	合同防災訓練		誘因: 豪雨			誘因: 地震		
			学習型方式 高山市(11/20)	学習型方式 飛騨市(11/9)	ロールプレイング方式 白川村(12/20)	ロールプレイング方式 高山市(11/26)	ロールプレイング方式 飛騨市(12/12)	ロールプレイング方式 白川村(12/1)
(4) 防災意識向上に関する活動			防災講習会 飛騨市(11/2)				防災講習会 高山市(8/7)	
(5) 連携マニュアルの作成更新	本編	骨子(案)作成	原案作成	更新	更新	更新	更新	更新
	巻末資料		原案作成	更新	更新	更新	更新	更新
	タイムライン		原案作成	更新	更新	更新	更新	更新
(6) その他活動			勉強会	勉強会	勉強会	勉強会	勉強会 事前学習の検討	勉強会 事前学習の検討

# 1.危機管理に係る事項 第1回幹事会

## ■概要

**日時** : 令和2年6月23日(火) 14:00~15:00

**形式** : web会議形式により開催

### 協議事項

・今年度の活動計画について

#### 1.連絡協議会の開催

⇒令和2年度は幹事会を年2回、連絡協議会本会を1回開催とする。

#### 2.合同防災訓練の実施

⇒令和2年度は出水期前・出水期後の計2回実施する。

#### 3.防災講習会の実施

⇒災害対応経験のある職員を講師に招き、防災講習会を開催する。

#### 4.事前学習の検討

⇒協議会構成員が所属組織の自席にて危機管理対応について学習し、危機管理能力を向上することを目的とし、事前学習ツールの検討を進める。

・質疑応答

**議事概要** : 以下に議事の概要を示す。

- ・新型コロナウイルスの影響を踏まえた今年度の活動計画(案)について概ね同意を得た。講習会の開催は難しいため、代替案として参考となる訓練や講習会等の映像の配布について検討する。

## ■参加機関・組織別参加者数

高山市		2名
飛騨市		2名
白川村		3名
岐阜県	危機管理部 砂防課	1名
林野庁	中部森林管理局飛騨森林管理署	1名
国交省	中部地方整備局高山国道事務所	3名
	神通川水系砂防事務所	3名
参加者合計		15名



第1回幹事会(web会議形式)状況写真

# 1.危機管理に係る事項 協議会

## ■日時

令和2年7月27日（月） 資料データ送付

## ■形式

資料配布による書面開催

※令和2年7月豪雨の影響により関係機関が災害対応に追われ、全機関の参加が難しいことが予想されたため、資料配布による書面開催に変更した。

## ■協議事項

- ① 昨年度の活動報告
- ② 今年度の活動計画案

## ■配布資料

- ① 昨年度の活動報告
- ② 令和2年度の活動計画（案）

# 1.危機管理に係る事項 第2回幹事会

## ■概要

**日時** : 令和3年2月15日(月) 14:00~15:00

**形式** : web会議形式により開催

### 協議事項

- ・令和2年度の活動内容について
- ・令和3年度以降の活動計画について
- ・令和2年度合同防災訓練結果について
- ・今年度の取組を踏まえた連携マニュアル等の修正・更新について
- ・質疑応答

**議事概要** : 以下に議事の概要を示す。

- ・新型コロナウイルスの影響を踏まえた令和3年度の活動計画(案)について概ね同意を得た。次年度もWEB会議を使用していくことについて同意を得た。

## ■参加機関・組織別参加者数

高山市		2名
飛騨市		1名
白川村		2名
岐阜県	危機管理部 防災課	1名
	県土整備部 砂防課	2名
	飛騨県事務所	1名
	飛騨農林事務所	1名
	高山土木事務所	2名
	古川土木事務所	2名
林野庁	中部森林管理局飛騨森林管理署	1名
国交省	中部地方整備局高山国道事務所	3名
	神通川水系砂防事務所	4名
参加者合計		22名

## 3.防災訓練の実施 出水期前訓練 概要

### ■目的

- ・ 出水期に備えた、初動対応に関する連携対応の確認、危機管理能力の向上。
- ・ 連携マニュアルを実際に手に取り、各関係機関に内容を確認すること。

### ■訓練方式

資料配布、回答方式(メール等で訓練用テキストを配布、回答)

### ■時期

令和2年6月29日～令和2年7月22日

### ■訓練対象機関

10機関(10名)

### ■災害

誘因→豪雨 想定災害→河道閉塞、地すべり、同時多発的土砂災害

### ■訓練内容

#### 想定場面と主な質問

- ①大雨警報の発令(自機関としての防災対応、情報連絡の相手先と内容や情報連絡の手段等)
- ②土砂災害警戒情報の発表(関係機関への報告と共有、土砂災害警戒情報発表の流れ等)
- ③降雨のピーク～土砂災害発生第一報(土砂災害対応の助言対応等)
- ④地すべりの兆候の第一報(地すべり状況の伝達内容、住民避難に向けた情報発信等)
- ⑤河道閉塞発生第一報(河道閉塞の伝達先・内容・手段TEC-FORCEの受け入れ準備等)

### ■訓練時間

2時間(各機関、個人で可能な時間に実施)

## 3.防災訓練の実施 出水期前訓練 結果

### ■第1回合同防災訓練の総括

- 各機関とも連携マニュアルや自機関の計画・マニュアル等を踏まえた防災行動について回答されており、回答のための準備等も含めて、防災行動等について周知を図ることができた。
- 過年度より合同防災訓練でもテーマとしている「情報収集・伝達・共有」や「連絡調整」、「リエゾン・TEC-FORCE等の応援職員との連携」、「避難勧告等の発令・解除における助言対応」といった事項についても、よく回答されており、理解が向上していることがうかがえる。
- 本訓練の方式（質問・回答記入方式）に関しては、参集しない形でも一定の効果が期待できることが明らかになったが、「訓練結果のフィードバック」を望む声もあった。

### ■質問・回答記入方式の今後の課題

- *訓練効果を定量的に把握するための設問・進め方等の検討が求められる。*
- *参加者から事務局へ早期の回答の提出が必要。*
- *防災体制更新後および出水期への備えに活用できるよう、出水期前に実施することが望ましい。*

# 3.防災訓練の実施 合同防災訓練 概要

## ■訓練概要

日時 : 令和2年12月1日(火) 13:00~16:00

会場 : 白川村 鳩谷体育館

訓練方式: ロールプレイング方式

- 訓練目的: ① 関係者の「顔の見える関係」を維持する。  
 ② 大規模土砂災害時における連携マニュアルの概成に向けた検証を行う。  
 ③ 防災担当者の知識醸成(防災対応能力の向上)を図る。

- ポイント: ●連携マニュアル、防災行動計画(地震版)の確認・検証  
 ●土砂災害防止法に基づく各機関の対応の確認  
 ●住民等の警戒避難対応の確認

## ■参加機関・参加者数・スケジュール

高山市		4名
飛騨市		5名
白川村		6名
岐阜県	砂防課	3名
	防災課	1名
	飛騨県事務所	2名
	高山土木事務所	3名
	古川土木事務所	4名
林野庁	中部森林管理局 飛騨森林管理署	2名
国交省	中部地方整備局 高山国道事務所	3名
	神通川水系砂防事務所	8名
参加者合計		42名



各機関のブース状況



リエゾン連携対応状況



会場全体状況



訓練開始前検温状況



連絡会議状況(web会議)



Web会議画面



## 4. 平常時における防災意識向上に関する活動 防災講習会

当初、昨年度と同様に防災講習会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を踏まえて、対面型の防災講習会の開催は断念し、代替案として国内の大規模土砂災害に関する訓練や講演会等の映像をDVD化し配布することを検討する方針とした（第1回幹事会にて）。

代替案については調整を進めていたが、該当する事例が見つからなかったため中止とした。

## 5.連携マニュアルの作成更新

今年度の訓練結果を踏まえて連携マニュアルの更新について検討した。

◆課題と解決に向けた対応策の方向性(案)

課題	対応方針案	反映状況
<b>■合同防災訓練をふまえた修正事項</b>		
➤ テレビ会議システムによる情報共有・調整が有効であった。	①連携マニュアル「2.災害情報等の収集、共有」にテレビ会議システムの活用について追加する。	今回修正案に反映
➤ 県の地すべり対応について、関係機関間での共有が不十分。	②連携マニュアル4.3(2)「地すべりの緊急調査に係る役割分担」を更新する。	今回修正案に反映
➤ 報道発表対応について、関係機関間での共有が不十分。	③大規模土砂災害タイムラインに、報道発表対応の追加・更新を図る。	今回修正案に反映
➤ 県のリエゾン派遣対応について、関係機関間での共有が不十分。	④大規模土砂災害タイムラインに、県のリエゾン派遣対応の追加・更新を図る。	今回修正案に反映
<b>■その他の修正事項(事務局案)</b>		
➤ ホットラインによる情報伝達・共有について記載がない。	⑤連携マニュアル「2.災害情報等の収集、共有」にホットラインについて追加する。	今回修正案に反映
➤ 名称変更	⑥「防災行動計画(案)」を「大規模土砂災害タイムライン(案)」に変更する。	今回修正案に反映

## 6.その他の活動 勉強会・事前学習の検討

### ■概要

場所：古川土木事務所  
 日時：令和2年11月18日  
 次第：

- ①勉強会
  - ・近年の大規模土砂災害とその対応事例
- ②事前説明会
  - ・訓練の実施計画について
- ③質疑応答

### ■参加機関・組織別参加者数

高山市		2名
飛騨市		1名
白川村		3名
岐阜県	飛騨農林事務所	1名
	高山土木事務所	2名
	古川土木事務所	2名
林野庁	中部森林管理局 飛騨森林管理署	1名
国交省	中部地方整備局 高山国道事務所	3名
	神通川水系砂防事務所	2名
参加者合計		17名



勉強会状況写真

## 6.その他の活動 事前学習ツール

### ●事前学習ツール運用に向けたスケジュール（案）

令和2年度

- 学習内容案の作成
- 運用方法案の検討

令和3年度

- 学習内容案・運用方法案の意見照会
- 学習内容等の確定

令和4年度以降

- 事前学習ツールを用いた自己学習の運用開始